

### (3) 宇佐インターチェンジ周辺部

四日市・駅川地区の市街地の背後に位置するインターチェンジ周辺の丘陵地では、工業団地の整備が進んでおり、産業経済の活性化に向けた開発を適切に誘導し、背後の森林と調和した緑豊かな景観形成を目指します。

【基本目標】

## 都市活力と自然が調和した緑豊かな景観づくり

位 置	宇佐別府道路宇佐 I.C.周辺の丘陵地、
景観特性 ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宇佐 I.C.から駅館川を挟んで東側の丘陵地に造成された下拝田工業団地では、緑に囲まれた環境に工場や倉庫などの大規模施設が立地しており、その一部は四日市・駅川地区の市街地から確認することができます。</li> <li>○宇佐 I.C.西側の葡萄畑などが広がる丘陵地には、周辺の農地や背後の緑の風景に馴染む色合いの工場や事務所などの大規模施設が立地しています。</li> </ul>
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宇佐平野の豊かな田園と山並みが調和した眺望景観を保全します。</li> <li>○丘陵地における開発は、周辺の山並みとの調和を図ります。</li> </ul>
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宇佐平野から望む山並みのパノラマ景観を守るため、市街地や田園地帯からの眺望に配慮した開発の規制誘導を行います。</li> <li>○丘陵地における開発等については、適正な維持・管理を促し、森林伐採や土砂採取等を行った土地が処分される場合は、原状回復を図り、背後の山並みと一体となった自然景観の維持に努めます。</li> </ul>



下拝田工業団地



宇佐 I.C. 周辺並びに宇佐 I.C. からの眺望



三和酒類本社周辺



宇佐別府道路では、宇佐 I.C. 以外に、院内、安心院、大分農業文化公園にインターチェンジが設置されています（院内 I.C. は大分方面のみ）。

その周辺には森林や農地が広がっており、山間に広がる自然や田園集落の景観との調和を図りつつ、将来のまちづくりと連携した景観形成誘導を図っていく必要があります。

院内 I.C. 周辺



安心院 I.C. 周辺





## 2. 海岸部景観

周防灘に面して海岸線が東西に伸びる宇佐市の海岸部は、隣接する中津市の沿岸が大規模な埋立地と工業地帯が形成されているのに対し、一部に砂浜が残る自然に近い海岸部景観が続いています。また、本市が面する周防灘は、遠浅の海が広がり、広大な干潟が発生するなど、自然が生み出す独特の風景が見られます。

### 【基本目標】

## 周防灘の自然と人の営みが織り成す景観づくり

位置	沿岸部の土地利用を含む宇佐市海岸部一帯
景観特性 ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宇佐市内には自然形態に近いかたちで海岸線が残っており、海岸部の活用にあたっては、その美しい自然景観との調和が求められます。</li> <li>○周防灘は遠浅海岸であり、干潮時には大規模な干潟が出現する独特の景観が広がりますが、和間海浜公園など一部を除き、海岸部へのアクセス性が弱い状況にあります。</li> <li>○駅館川河口付近に漁港がつくられ、漁村が形成されていますが、漁業や生活様式の近代化に伴い、住宅の建替えや基盤整備によって、伝統的な漁村風景が減少し、新しい都市景観が増えています。</li> </ul>
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○海岸線に残る自然景観の保全を図ります。</li> <li>○海岸線沿いに望む背後の山並みとの一体的な景観の保全を図ります。</li> </ul>
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○海岸部の自然景観を守るため、適正な保全・活用を誘導します。</li> <li>○海岸部における公園などの眺望の視点場を整備し、有効活用に努めます。</li> <li>○美しい海岸線の保全に向け、官民が一体となった美化活動を推進します。</li> </ul>

図 海岸部景観



干潮時の周防灘



和間海浜公園



駅館川河口付近



伊呂波川河口付近



### 3. 田園集落景観

#### (1) 宇佐平野

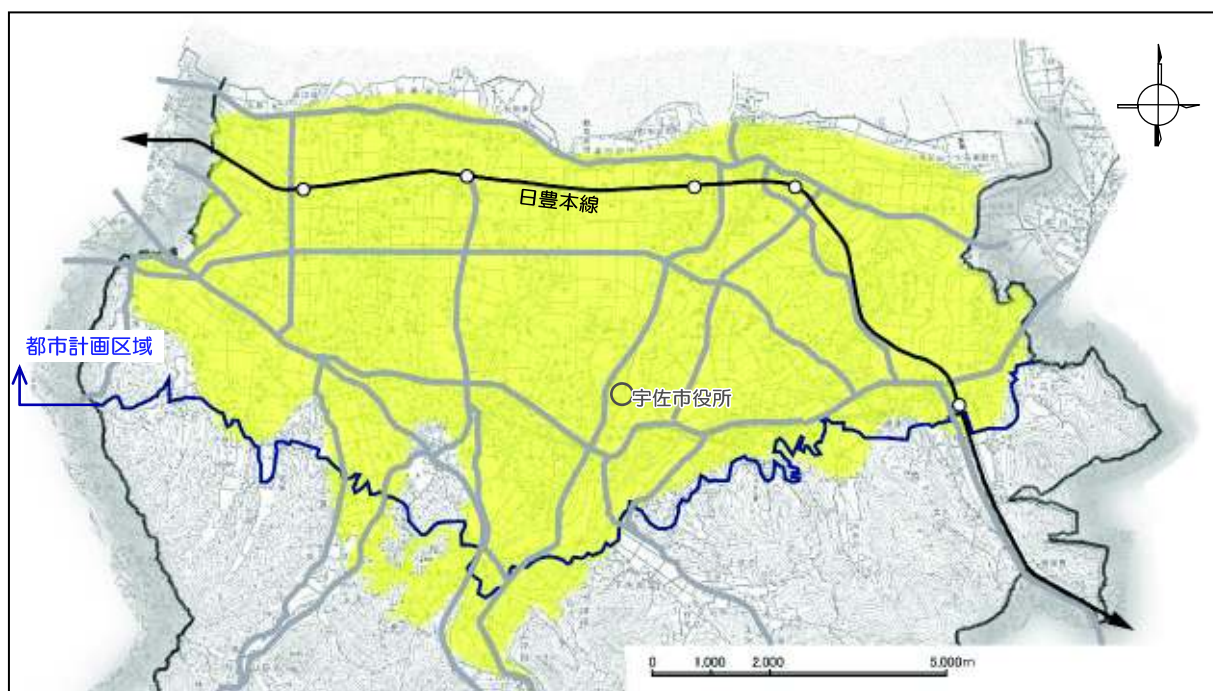
宇佐平野は、麦や米の生産に合わせ四季折々の風景をみせる大分県内随一の耕作地帯であり、背後に連なる山々の稜線とともに、伸びやかなパノラマ景観を活かします。

【基本目標】

## 四季の変化と歴史の変遷を活かした田園集落の景観づくり

位 置	都市計画区域内を基本とした市街地、海岸部を除く平野部
景観特性 ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大分県随一の平野が広がり、優良な農地として保全されることで、広い空を有し、九重山系方面を望むパノラマ景観が守られています。</li> <li>○大規模農地が整備され、広大な平野に社寺を核とした集落地が分散する特徴的な田園風景がみられます。</li> <li>○掩体壕などの宇佐海軍航空隊跡や古墳など歴史遺産が多く残っていますが、その大半は民有地であり、農地などに利用されています。</li> </ul>
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宇佐平野と背後の山々との一体的なパノラマ景観を保全します。</li> <li>○田園に残る歴史資源の保全、再生、活用を図ります。</li> </ul>
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広々とした田園地帯の風景と、背後に連なる九重山系の山並みを守るため、無秩序な開発の抑制に努めます。</li> <li>○点在する集落地内の緑を守るため、社寺林、屋敷林、生垣等の保全と、集落地の街並み環境整備に努めます。</li> <li>○美しい田園風景の保全に向け、官民が一体となった美化活動を推進します。</li> </ul>

図 田園集落景観（宇佐平野）





宇佐平野



歴史遺産



集落地内



## (2) 盆地等（安心院地域、院内地域）

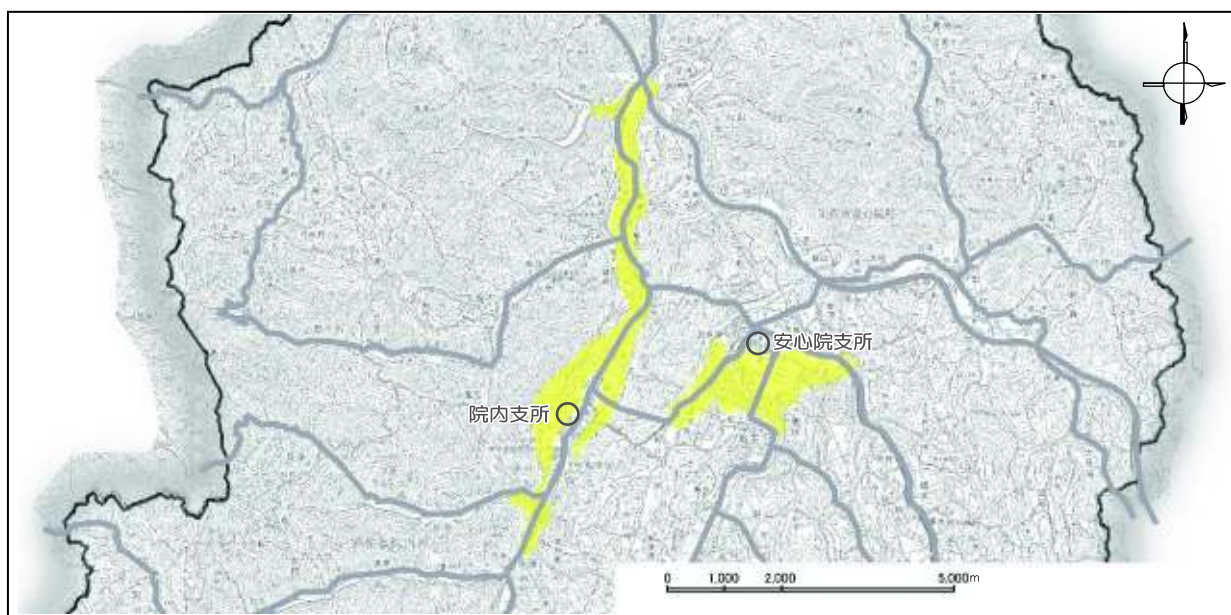
駅館川水系の支流と山々に囲まれた盆地で、昼夜の寒暖の差が大きく、放射冷却による朝霧の発生など特異な自然現象が見られる安心院地域と、恵良川に沿って山間に伸びる谷に、東西を山々に挟まれた平坦地を形成する院内地域については、それぞれの地形や気候条件を活かした農業の風景を守り育てます。

【基本目標】

### 四季の変化と時代の変化を活かした田園集落の景観づくり

位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心院盆地にあって、生活中心地や国道500号沿道を除く平坦地。</li> <li>○恵良川に沿って延びる谷にあって、国道387号の白岩～原口間の沿線に広がる平坦地。</li> </ul>
景観特性 ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心院盆地は、盆地特有の地形や気候・風土を有し、独特の風景が広がっており、盆地全体を宇佐市の財産として、その風景を守ることが求められます。</li> <li>○安心院盆地は、土地利用の規制の緩い地域が生活中心地の周辺にまで広がっており、良好な景観の保全に向け、土地利用の適正な誘導が必要です。</li> <li>○院内地域の恵良川沿いに延びる平坦地は、農地と点在する集落地によって良好な田園風景が形成されており、地域の風土として保全が必要です。</li> </ul>
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○盆地など山々と調和した風土風景を保全します。</li> </ul>
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心院盆地の白地地域は、無秩序な開発を抑制し、良好な田園風景を保全します。</li> <li>○院内地域の国道沿道においては、無秩序な開発を抑制し、良好な田園風景を保全します。</li> <li>○地域の特性を活かした農業振興を図ることで、その田園風景を保全します。</li> </ul>

図 田園集落景観（盆地等）



院内地域（里山風景）



安心院地域





#### 4. 山間部景観

宇佐平野からは、宇佐市内外に連なる山々が農地や市街地の背後に広がり、独特の山並みを望むパノラマ景観を形成しています。

また、安心院地域や院内地域の山々には豊かな自然地が広がるとともに、仙の岩や東椎屋の滝、岳切渓谷をはじめ特徴的な地形が多くみられ、さらに、斜面地では棚田など人の手が施された文化的景観も残っています。

【基本目標】

### 自然との調和を基調とした、緑豊かで文化的な自然景観づくり

位 置	安心院地域、院内地域の山間部一帯。
景観特性 ・課題	○山間部が有する緑豊かな森林の保全が求められます。 ○山間では人口減少や高齢化によって耕作放棄地が増加しており、棚田が広がる文化的景観の保全が求められます。
基本方針	○美しい山並みの景観を保全します。 ○棚田など文化的景観を保全します。
取り組み	○宇佐平野と山並みがつくる自然のパノラマ景観を守るため、市街地や田園地帯からの眺望に配慮した開発の規制誘導を行います。 ○ボランティアなどを活用し、耕作放棄された棚田の維持に努めます。 ○岳切渓谷などの景勝地は、人が訪れ活用することで適切な管理を行い、その景観の維持に努めます。 ○耶馬日田英彦山国定公園や国東半島県立自然公園の指定を踏まえ、自然公園法や大分県立自然公園条例に基づき、開発等の規制を行います。



図 山間部景観





## 5. 河川軸景観

宇佐市を流れる駅館川、伊呂波川、寄藻川と、これら河川水系の支流は、安心院地域、院内地域の山々から周防灘に至る変化に富んだ地形の中で、様々な姿を変え、景観軸を形成しています。

これら河川は、魚類や鳥類など多様な生物が生息する空間であると同時に、河川に沿って分布する市街地や集落地にとっても、生活と自然が接する貴重な空間でもあり、生態系に配慮した護岸整備や河川環境の改善等の中で、良好な景観の形成が望まれます。

### 【基本目標】

## 潤いによって地域の生活文化を育む水際景観づくり

位 置	駅館川、伊呂波川、寄藻川、恵良川、津房川、深見川、佐田川沿い
景観特性 ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山間部から平野部、周防灘の海岸部まで変化に富んだ地形を有する宇佐市では、溪流から平野部の穏やかな水面まで、様々な姿の河川を見ることができます。</li> <li>○河口付近や市街地などでは、河川と市民生活が密着しており、河川の生態系を守りつつ、市民生活との接点を確保した景観形成が求められます。</li> </ul>
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○河川が有する自然豊かな環境を保全します。</li> <li>○都市の骨格となる水と緑の軸を形成し、市街地内など人との関わりが深い区間における親水空間としての景観づくりを図ります。</li> </ul>
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○河岸・河川敷地に残る自然緑地の保全・整備に努めます。</li> <li>○河川の有する自然的景観の保全に向け、河川近くの大規模建築物等については、形態・意匠の誘導、及び緑化の推進に努めます。</li> <li>○河川改修にあたっては、親水空間の確保、河川に架かる橋や防護柵などの人工物について、形態・意匠の適正な誘導や、河川敷等における散策路の整備など、河川と一体となった景観整備に努めます。</li> </ul>



伊呂波川



駅館川



寄藻川



恵良川



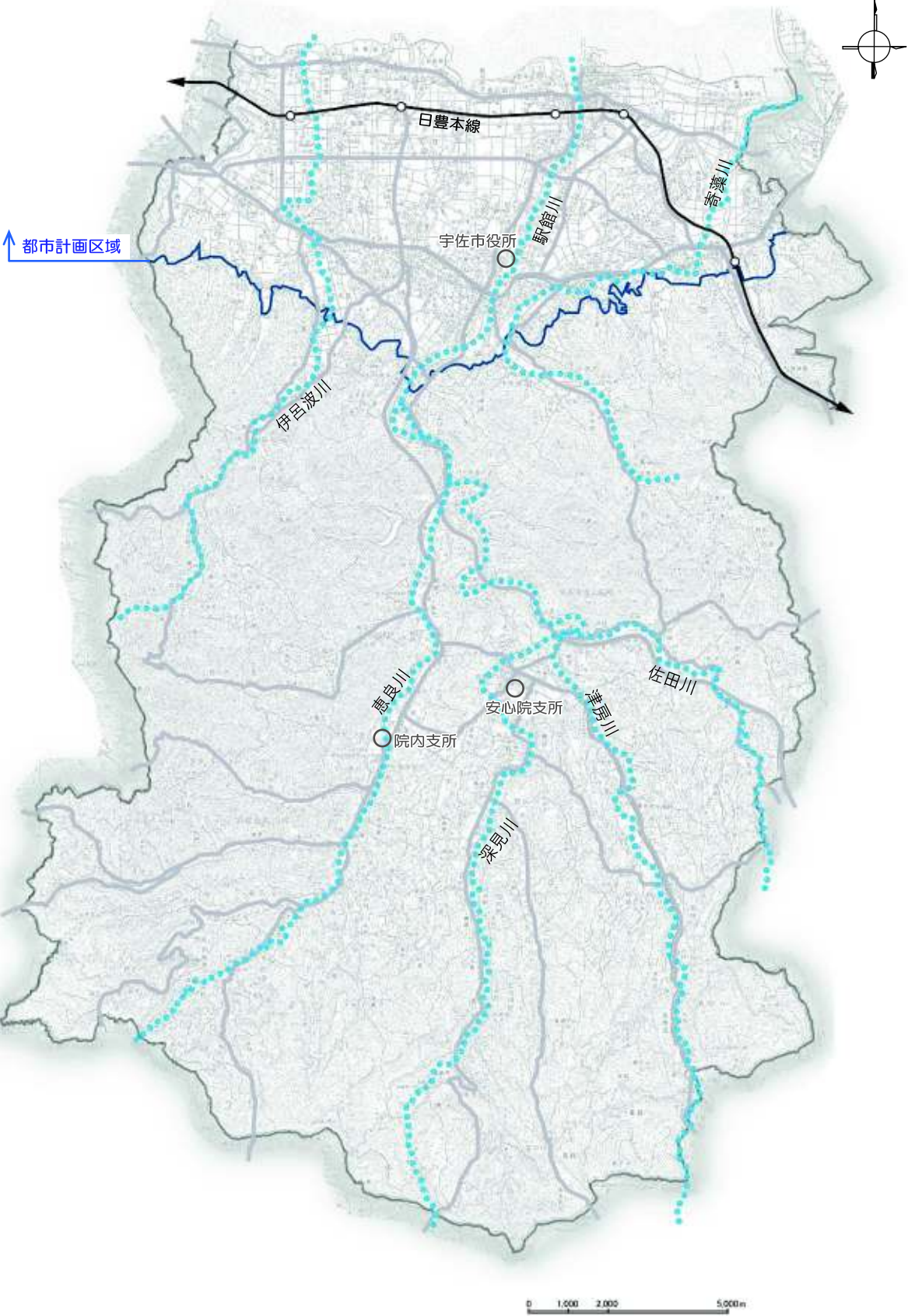
津房川



佐田川



図 河川軸景観



## 6. 幹線軸景観

車や歩行者などの移動する視点で眺める時間とともに変化するシーケンス景観は、宇佐市の魅力や生活文化、風土といった都市・地域のアイデンティティを連続して表現します。

したがって、宇佐市内を走る幹線道路のうち、広域交流の軸となる宇佐別府道路や国道10号をはじめとする主要路線については、景色の移ろいの中で、宇佐市の街並み・景観の変化を演出し、訪れる人々の期待を高める役割が期待されます。

【基本目標】

### 景色が移ろい宇佐市の魅力を演出する景観づくり

位置	宇佐別府道路、国道10号、国道213号、国道387号、国道500号、(主)宇佐本耶馬溪線（都市計画区域内のみ）、(主)中津高田線、(一)和気佐野線、市道USAフラワーロード2号線 ※(主)主要地方道、(一)一般県道
景観特性・課題	○宇佐別府道路と国道10号の沿道は、環境美化に向け大分県による規制・誘導が図られてきました。 ○主に市街地内を走る幹線道路の沿道では、開発によって乱雑な街並みや宇佐市の特徴を踏まえない景観の形成が進んできました。
基本方針	○周辺と調和し違和感無く変化する景観の連続性を確保します。 ○宇佐市のイメージや宇佐神宮等の歴史文化に配慮した景観誘導を行います。
取り組み	○路線・区間毎に、沿道の地域特性や周辺環境、立地機能・用途、スケール感等に合わせ、形態・意匠への形成誘導を行います。 ○宇佐神宮や観光拠点などへの期待感を高める景観演出としての形態・意匠の形成誘導を行います。 ○沿道環境美化地区を踏襲し、宇佐別府道路と国道10号の沿道景観の形成を図ります。 ○地域の緑化活動や美化活動など促進します。 ○宇佐市として望ましい屋外広告物の方針を示します。





図 幹線軸景観

